

# 野村金先物投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型

## 運用報告書(全体版)

第13期(決算日2015年10月26日)

作成対象期間(2015年4月28日～2015年10月26日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産(商品)	
信託期間	2009年7月31日から2019年10月25日(当初、2014年10月27日)までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えるとともにブラジルリアルへの投資効果を追求することを目的として運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。	
主な投資対象	野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL受益証券および野村マネーポートフォリオ マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とします。外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用します。
主な投資制限	野村マネーポートフォリオマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	野村マネーポートフォリオマザーファンド	株式への投資は行いません。
	野村マネーポートフォリオマザーファンド	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			純 資 産 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率	
	円	円		%	百万円
9期(2013年10月25日)	13,492	10		△11.9	301
10期(2014年4月25日)	13,768	10		2.1	238
11期(2014年10月27日)	12,864	10		△6.5	195
12期(2015年4月27日)	11,845	10		△7.8	168
13期(2015年10月26日)	9,334	0		△21.2	114

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

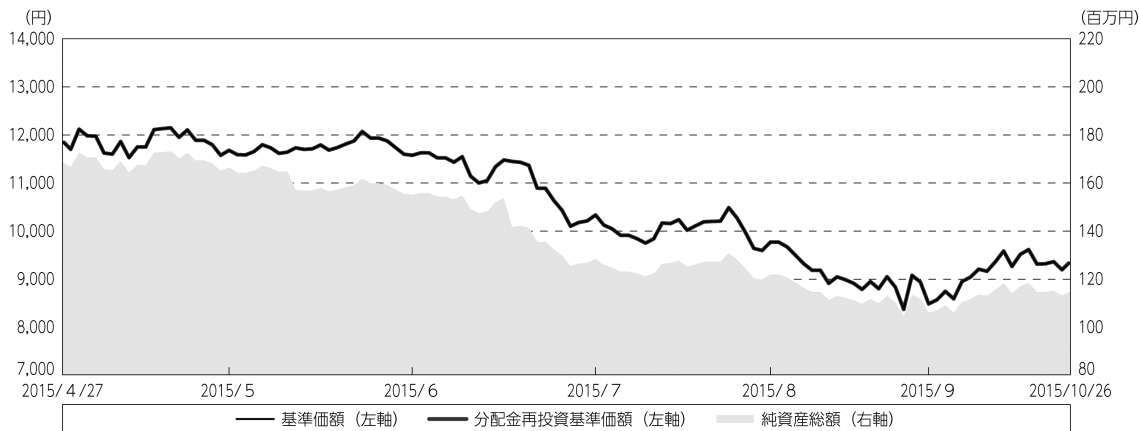
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)		円	%
2015年4月27日		11,845	—
4月末		12,119	2.3
5月末		11,680	△1.4
6月末		11,577	△2.3
7月末		10,336	△12.7
8月末		9,771	△17.5
9月末		8,487	△28.3
(期 末)			
2015年10月26日		9,334	△21.2

\* 騰落率は期首比です。

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期 首 : 11,845円

期 末 : 9,334円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率 :  $\Delta 21.2\%$  (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等からのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益)

為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)またはプレミアム(金利差相当分の収益)  
円/ブラジルレアルの為替変動

## ○投資環境

COMEX金先物(期近物)は、当作成期中、下落しました。当作成期の前半は、4月の米コアCPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことや、6月の米CPIが前月比で5ヵ月連続のプラスとなったことなどをを受け、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げが意識され、大きく金は売られました。その後、8月に中国人民銀行(中央銀行)が人民元を実質的に切り下げたことなどをを受けて世界的な株安となったことや、9月の米小売売上高や米PPI(生産者物価指数)が市場予想を下回ったことなどを背景に、FRBによる更なる利上げの先送りが意識され金は買われましたが、当作成期において下落しました。当作成期首は1トロイオンスあたり1,194.40米ドルでしたが、当作成期末には1,166.60米ドルとなりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型]

[ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL] および [野村マネーポートフォリオ マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

### [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、純資産総額の90%~110%程度の範囲に維持しました。

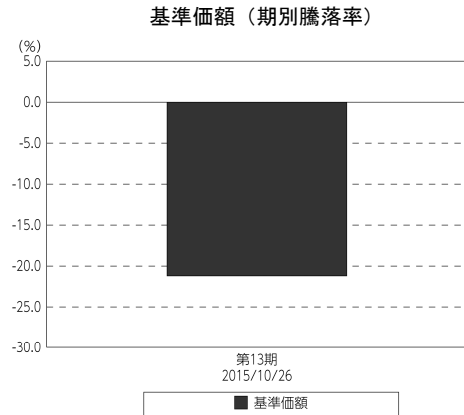
### [野村マネーポートフォリオ マザーファンド]

残存期間の短い公社債への投資により安定した収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案して決定しました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第13期
	2015年4月28日～ 2015年10月26日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,666

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ◎今後の運用方針

### [野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型]

[ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL] および [野村マネーポートフォリオ マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

### [ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL]

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、原則として純資産総額の90%~110%の範囲に保つことを目指します。

### [野村マネーポートフォリオ マザーファンド]

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化の動きについて

店頭デリバティブ取引に関して、将来、国際的に規制の強化等が予定されています。ファンドが投資対象とする外国投資信託が原則として活用する店頭デリバティブ取引(オプション、NDFおよびNDO等を含みます。)が当該規制強化等の対象取引となり、かつ、当該取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合、当該現金等を資産の一部として追加的に保有することとなります。その場合、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年4月28日～2015年10月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 68	% 0.634	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(26)	(0.242)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(40)	(0.376)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0.635	
期中の平均基準価額は、10,661円です。			

\*期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年4月28日～2015年10月26日)

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスBRL	口 2,025	千円 11,373	口 4,070	千円 24,756

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年4月28日～2015年10月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2015年10月26日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		口	口	千円	%
	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・ フューチャー・ファンドークラスBRL	25,303	23,258	112,405	97.8
	合 計	25,303	23,258	112,405	97.8

\*比率は、純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
	野村マネーポートフォリオ マザーファンド	99	99	100

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2015年10月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	112,405	97.0
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	100	0.1
コール・ローン等、その他	3,324	2.9
投資信託財産総額	115,829	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	115,829,103
コール・ローン等	3,322,884
投資信託受益証券(評価額)	112,405,914
野村マネーポートフォリオ マザーファンド(評価額)	100,299
未収利息	6
(B) 負債	882,928
未払信託報酬	881,492
その他未払費用	1,436
(C) 純資産総額(A-B)	114,946,175
元本	123,153,330
次期繰越損益金	△ 8,207,155
(D) 受益権総口数	123,153,330口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,334円

(注) 期首元本額142百万円、期中追加設定元本額1百万円、期中一部解約元本額21百万円、計算口数当たり純資産額9,334円。

## ○損益の状況 (2015年4月28日～2015年10月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8,095,406
受取配当金	8,094,447
受取利息	959
(B) 有価証券売買損益	△ 37,894,519
売買益	1,472,144
売買損	△ 39,366,663
(C) 信託報酬等	△ 882,928
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 30,682,041
(E) 前期繰越損益金	△ 31,924,344
(F) 追加信託差損益金	54,399,230
(配当等相当額)	( 120,855,320)
(売買損益相当額)	(△ 66,456,090)
(G) 計(D+E+F)	△ 8,207,155
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 8,207,155
追加信託差損益金	54,399,230
(配当等相当額)	( 120,855,321)
(売買損益相当額)	(△ 66,456,091)
分配準備積立金	35,139,434
繰越損益金	△ 97,745,819

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年4月28日～2015年10月26日)は以下の通りです。

項 目	第13期
	2015年4月28日～ 2015年10月26日
a. 配当等収益(経費控除後)	7,212,845円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	120,855,321円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	27,926,589円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	155,994,755円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	12,666円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合  
分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合  
分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合  
分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

---

有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

## ○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2015年10月26日現在)

## &lt;野村マネーポートフォリオ マザーファンド&gt;

下記は、野村マネーポートフォリオ マザーファンド全体(135,444千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建) 公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			%
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	50,000	50,000	36.7	—	—	—	—	36.7
	(50,000)	(50,000)	(36.7)	(—)	(—)	(—)	(—)	(36.7)
地方債証券	20,000	20,175	14.8	—	—	—	—	14.8
	(20,000)	(20,175)	(14.8)	(—)	(—)	(—)	(—)	(14.8)
特殊債券 (除く金融債)	10,000	10,022	7.3	—	—	—	—	7.3
	(10,000)	(10,022)	(7.3)	(—)	(—)	(—)	(—)	(7.3)
合 計	80,000	80,198	58.8	—	—	—	—	58.8
	(80,000)	(80,198)	(58.8)	(—)	(—)	(—)	(—)	(58.8)

\*( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*一印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B) 国内(邦貨建) 公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
国庫短期証券 第566回※	—	50,000	50,000	—	
小 計		50,000	50,000		
地方債証券					
大阪府 公募(5年)第73回	0.51	10,000	10,024	2016/5/30	
兵庫県 公募平成18年度第7回	2.1	10,000	10,150	2016/7/27	
小 計		20,000	20,175		
特殊債券(除く金融債)					
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第6回	1.65	10,000	10,022	2015/12/18	
小 計		10,000	10,022		
合 計		80,000	80,198		

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

\*\*印は現先で保有している債券です。

# ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドー (クラスAUD、クラスBRL、クラスZAR)

2014年8月31日決算  
(計算期間：2013年9月1日～2014年8月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運用方針	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とし、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えるとともに各クラスで定められた通貨への投資効果を追求することを目的として運用を行います。
投資対象	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券 金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	インベストエック・アセット・マネジメント・リミテッド
共同投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

\*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書  
2014年8月31日に終了する計測期間  
(米ドル)

<b>費用</b>	
投資顧問および共同投資顧問報酬	156,650
事務管理代行報酬	74,584
保管費用	15,267
取引銀行報酬	2,317
受託報酬	22,382
法務報酬	2,082
海外登記手数料	34
立替費用	14,912
専門家報酬	19,291
創業費償却	4,356
雑費用	200
	<hr/>
費用合計	312,075
	<hr/>
<b>純投資損益</b>	(312,075)
	<hr/>
投資有価証券売買に係る損益	29,356
先物取引契約に係る損益	(3,977,753)
外国通貨および外国為替先渡し契約に係る損益	6,065,092
	<hr/>
<b>当期実現純損益</b>	2,116,695
	<hr/>
投資有価証券評価差損益	(6,054)
先物取引契約に係る評価差損益	(7,645,741)
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	907,690
	<hr/>
<b>当期評価差損益</b>	(6,744,105)
	<hr/>
<b>運用の結果による純資産の増減額</b>	(4,939,485)

組入資産明細  
2014年8月31日現在  
(米ドル)

通貨	額面	銘柄	評価額	投資比率 (%)
<b>アメリカ</b>				
<b>短期国庫債券</b>				
USD	20,000,000	US TREAS BILL 0% 16/10/14	19,999,814	33.06
USD	9,000,000	US TREAS BILL 0% 09/10/14	8,999,969	14.88
USD	6,800,000	US TREAS BILL 0% 30/10/14	6,799,848	11.24
USD	5,000,000	US TREAS BILL 0% 20/11/14	4,999,919	8.27
USD	5,000,000	US TREAS BILL 0% 13/11/14	4,999,863	8.27
USD	4,900,000	US TREAS BILL 0% 25/09/14	4,899,934	8.10
USD	4,000,000	US TREAS BILL 0% 06/11/14	3,999,862	6.61
USD	1,000,000	US TREAS BILL 0% 28/11/14	999,924	1.65
			<hr/>	<hr/>
		アメリカ計	55,699,133	92.08
			<hr/>	<hr/>
			55,699,133	92.08
			<hr/>	<hr/>
<b>投資有価証券合計</b>			<b>55,699,133</b>	<b>92.08</b>

\* 額面は発行通貨建て表示

## 外国為替先渡し契約

2014年8月31日現在

通貨 (買い)		通貨 (売り)		満期	未実現損益 (米ドル)
AUD	13,931,039	USD	12,910,451	September 12, 2014	103,665
AUD	13,540,638	USD	12,559,890	September 19, 2014	83,295
AUD	13,989,436	USD	13,001,502	September 05, 2014	73,601
BRL	2,097,322	USD	900,000	October 02, 2014	27,110
BRL	2,764,957	USD	1,200,000	October 02, 2014	22,234
BRL	4,568,606	USD	2,000,000	October 02, 2014	19,527
BRL	5,924,209	USD	2,600,000	October 02, 2014	18,764
BRL	1,851,003	USD	800,000	October 02, 2014	18,226
AUD	13,580,807	USD	12,658,942	September 26, 2014	15,504
BRL	1,384,191	USD	600,000	October 02, 2014	11,874
BRL	1,496,452	USD	650,819	October 02, 2014	10,679
BRL	1,148,951	USD	500,000	October 02, 2014	7,888
BRL	1,146,180	USD	500,000	October 02, 2014	6,663
BRL	915,354	USD	400,000	October 02, 2014	4,627
ZAR	1,058,807	USD	97,638	September 05, 2014	1,752
ZAR	1,345,430	USD	125,621	September 19, 2014	392
ZAR	1,365,833	USD	127,816	September 12, 2014	251
BRL	37,479	USD	16,399	October 02, 2014	169
BRL	13,424	USD	5,843	October 02, 2014	91
ZAR	921,841	USD	86,153	September 26, 2014	88
BRL	17,734	USD	7,759	October 02, 2014	80
AUD	33,483	USD	31,200	September 12, 2014	79
BRL	4,613	USD	1,996	October 02, 2014	43
BRL	2,447	USD	1,053	October 02, 2014	29
AUD	2,167	USD	2,007	September 05, 2014	19
BRL	2,314	USD	1,015	October 02, 2014	7
AUD	2,095	USD	1,951	September 12, 2014	7
AUD	1,047	USD	975	September 12, 2014	3
USD	27,962	AUD	29,938	September 26, 2014	23
USD	149,382	AUD	160,054	September 26, 2014	10
USD	1,916	ZAR	20,387	September 12, 2014	5
USD	1,953	ZAR	20,786	September 12, 2014	5
USD	1,084	ZAR	11,538	September 12, 2014	3
USD	36,625	AUD	39,242	September 26, 2014	2
USD	1,956	ZAR	20,918	September 26, 2014	(1)
USD	3,002	AUD	3,222	September 12, 2014	(8)

通貨 (買い)		通貨 (売り)		満期	未実現損益 (米ドル)
USD	2,015	AUD	2,170	September 12, 2014	(12)
USD	1,990	BRL	4,531	October 02, 2014	(13)
USD	1,015	BRL	2,336	October 02, 2014	(17)
USD	1,015	BRL	2,336	October 02, 2014	(17)
USD	2,891	BRL	6,587	October 02, 2014	(20)
USD	1,053	BRL	2,434	October 02, 2014	(23)
USD	1,053	BRL	2,434	October 02, 2014	(23)
USD	2,009	BRL	4,600	October 02, 2014	(24)
USD	2,983	AUD	3,224	September 05, 2014	(30)
USD	2,015	BRL	4,658	October 02, 2014	(44)
USD	12,773	AUD	13,715	September 05, 2014	(45)
USD	12,735	AUD	13,712	September 12, 2014	(74)
USD	16,061	BRL	36,697	October 02, 2014	(161)
USD	32,008	BRL	72,989	October 02, 2014	(256)
USD	166,587	AUD	178,622	September 05, 2014	(360)
USD	112,027	AUD	120,469	September 12, 2014	(513)
USD	59,553	BRL	136,068	October 02, 2014	(595)
USD	65,552	AUD	70,833	September 05, 2014	(651)
USD	170,677	AUD	183,900	September 05, 2014	(1,203)
USD	269,581	AUD	289,897	September 12, 2014	(1,234)
USD	59,688	BRL	138,216	October 02, 2014	(1,409)
USD	111,332	BRL	256,534	October 02, 2014	(2,068)
					417,914

先物取引契約

2014年8月31日現在

通貨	契約数	銘柄	満期	市場価格(米ドル)	未実現損益(米ドル)
<b>買建</b>					
USD	468	FUT GOLD 100 OZ	December 2014	60,390,720	(576,281)
				60,390,720	(576,281)
				(576,281)	

# 野村マネーポートフォリオ マザーファンド

## 運用報告書

第7期（決算日2015年7月13日）

作成対象期間（2014年7月12日～2015年7月13日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>



## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落	中 率			
3期(2011年7月11日)	円 10,030	% 0.1	% 99.0	% —	百万円 1,050
4期(2012年7月11日)	10,041	0.1	103.3	—	571
5期(2013年7月11日)	10,051	0.1	99.5	—	391
6期(2014年7月11日)	10,059	0.1	68.6	—	207
7期(2015年7月13日)	10,066	0.1	66.7	—	135

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

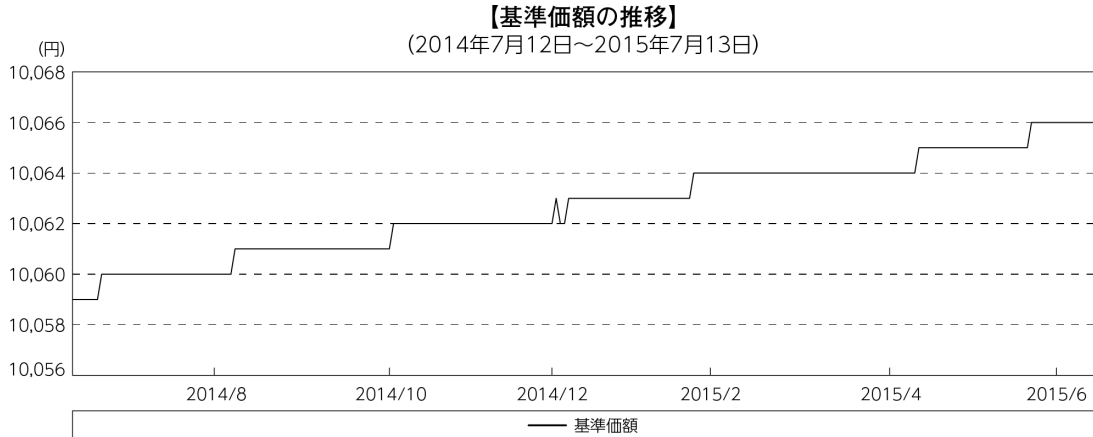
年 月 日	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落	率		
(期首) 2014年7月11日	円 10,059	% —	% 68.6	% —
7月末	10,060	0.0	66.8	—
8月末	10,060	0.0	92.1	—
9月末	10,061	0.0	67.2	—
10月末	10,061	0.0	60.8	—
11月末	10,062	0.0	68.0	—
12月末	10,062	0.0	57.3	—
2015年1月末	10,063	0.0	109.7	—
2月末	10,064	0.0	69.2	—
3月末	10,064	0.0	63.5	—
4月末	10,064	0.0	62.3	—
5月末	10,065	0.1	70.3	—
6月末	10,066	0.1	58.5	—
(期末) 2015年7月13日	10,066	0.1	66.7	—

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券等からのインカムゲイン（利息収入）。

### \* 基準価額は0.07%の上昇

基準価額は、期首10,059円から期末は10,066円となりました。

## ○投資環境

国内経済は、期を通じて企業収益の拡大に伴い緩やかに改善した設備投資などが下支えとなる一方、個人消費は消費税増税による反動減の影響が長引きましたが、賃金の緩やかな上昇などに伴い個人消費に下げ止まりの動きがみられたことで、期末にかけて内需は緩やかに改善しました。その間、米国を中心とした先進国経済の回復に伴い輸出に持ち直しの動きがみられました。

このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続し、2014年10月の金融政策決定会合では、資産買入れ額の拡大および長期国債買入れの平均残存年限の長期化を図るなど金融緩和を強化しました。

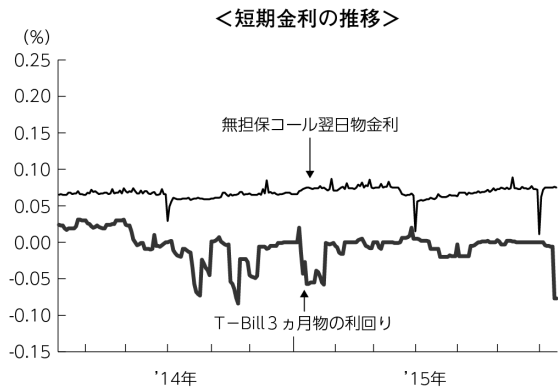
### ・無担保コール翌日物金利の推移

期を通じて概ね0.06%台から0.07%台で推移しました。

### ・T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りの推移

期首から2014年8月まで、需給の変化を受けて概ね0.02%台から0.03%台の範囲で推移しました。

2014年9月以降、国内投資家の恒常的な国債需要に加え、日本銀行による買入や海外からの資金流入などによる需給ひっ迫から、利回りは概ねマイナス圏で推移し、期末にかけてマイナス幅は拡大しました。



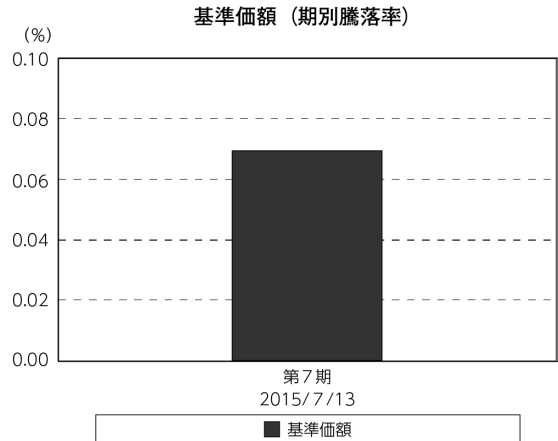
## ○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、残存期間の短い高格付けの公社債等によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

今後も、残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年7月12日～2015年7月13日)

該当事項はございません。

## ○ 売買及び取引の状況

(2014年7月12日～2015年7月13日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 4,650,077	千円 4,340,086 ( 400,000)
	特殊債券	241,079	40,150 ( 162,000)
	社債券 (投資法人債券を含む)	10,001	— ( 10,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

\*社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2014年7月12日～2015年7月13日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	561	70	12.5	40	—	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2015年7月13日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
特殊債券 (除く金融債)	80,000 (80,000)	80,175 (80,175)	59.3 (59.3)	— (—)	— (—)	— (—)	59.3 (59.3)
金融債券	10,000 (10,000)	10,005 (10,005)	7.4 (7.4)	— (—)	— (—)	— (—)	7.4 (7.4)
合 計	90,000 (90,000)	90,180 (90,180)	66.7 (66.7)	— (—)	— (—)	— (—)	66.7 (66.7)

\* ( )内は非上場債で内書きです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*—印は組み入れなし。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
<b>特殊債券(除く金融債)</b>	%	千円	千円		
日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第346回	1.4	10,000	10,016	2015/8/26	
首都高速道路債券 政府保証第199回	1.4	10,000	10,016	2015/8/28	
本州四国連絡橋債券 政府保証第27回	1.4	20,000	20,035	2015/8/31	
公営企業債券 政府保証第854回	1.4	20,000	20,024	2015/8/18	
日本政策投資銀行債券 政府保証第10回	1.4	10,000	10,015	2015/8/26	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第6回	1.65	10,000	10,065	2015/12/18	
小 計		80,000	80,175		
<b>金融債券</b>					
しんきん中金債券 利付第249回	0.5	10,000	10,005	2015/8/27	
小 計		10,000	10,005		
合 計		90,000	90,180		

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2015年7月13日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 90,180	% 66.7
コール・ローン等、その他	44,958	33.3
投資信託財産総額	135,138	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年7月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	135,138,782
コール・ローン等	14,264,520
公社債(評価額)	90,180,480
未収入金	30,127,600
未収利息	393,460
前払費用	172,722
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	135,138,782
元本	134,252,300
次期繰越損益金	886,482
(D) 受益権総口数	134,252,300口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,066円

(注) 期首元本額206百万円、期中追加設定元本額159百万円、期中一部解約元本額231百万円、計算口数当たり純資産額10,066円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村金先物投信(マネープールファンド)年2回決算型 83百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(マネープールファンド)年2回決算型 6百万円
- ・野村金先物投信(豪ドルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村金先物投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村金先物投信(南アフリカランドコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村金先物投信(豪ドルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村金先物投信(南アフリカランドコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型 1百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型 0百万円
- ・財形給付金ファンド 35百万円

## ○損益の状況 (2014年7月12日～2015年7月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,129,621
受取利息	1,129,621
(B) 有価証券売買損益	△ 996,145
売買益	63
売買損	△ 996,208
(C) 当期損益金(A+B)	133,476
(D) 前期繰越損益金	1,219,653
(E) 追加信託差損益金	1,004,315
(F) 解約差損益金	△1,470,962
(G) 計(C+D+E+F)	886,482
次期繰越損益金(G)	886,482

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

---

- ①書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2014年12月1日＞
  
- ②書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2014年12月1日＞
  
- ③デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。  
＜変更適用日：2014年12月17日＞



〈「野村金先物投信(通貨選択型)」(マネープールファンド(年2回決算型)を除く)の  
お申し込み時の留意点〉

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますよう  
よろしくお願いいたします。

(2015年10月26日現在)

年 月	日
2015年10月	—
11月	10、11、25、26
12月	22、24、25、28

※2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。